



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.41 (2023.9)

特集1：近畿の話題（今回は京都、大阪からです）

撮影所にちょっとばかり近い私の医院の話

水野 融（岡田医院／京都市）

早朝の往診の帰り、広沢の池の周りでジャパンアクションクラブがランニングされているのに遭遇。先頭が志穂美悦子さん、最後尾が真田広之さんだ。そう、京都は映画の街なのだ。

当院は京都嵯峨での開業70年になる。大河内伝次郎さんのカルテも現存しているし、琴姫七変化の松山容子さんが人気絶頂の時にも来られていたし、大川橋蔵さんも来られたことがある。当院のスタッフには撮影所の社長秘書だった人、なんと市川雷蔵さんの親戚の人もある。カメラマン、脚本家、大部屋の俳優さんなども来院されていたが、撮影の話をしないので、何も聞いたことがない。総じて口が堅かった。スター達はとても守られていた。

私の従姉が広島大学の文学部を卒業していざ就職という時に京都に遊びに来たばっかりに撮影所に応募し、スクリプターとして早速新選組とか仮面の忍者赤影を撮っていたが、これもずいぶんプライミーバルとなってしまった。

あるとき撮影所の診療所を担当してほしいと依頼が来た。当時私は仕事・家事・育児が忙しかったので呼吸器外科の中村先生をお願いした。先生は6か国語をラジオ講座で習得するという天才である。外科医であるし忙しいからダメダメだと言われるのに、押し付けてしまったが、先生の臨床のセンスは抜群で撮影所で大変な人気となった。その後京大の人工臓器部門の助教授になられたから、さらに人気と信頼が高まって行ったのだった。先日久々にお会いしたら今の勤務先から勧められ本学会に入会されていて御縁があるものと驚いた。指導医にも是非なっていただきたい。

ついであるが私は現役で熱心に働いており、医師の化石ではない・・・はず。

当院の最近の主要トピックス

竹中 裕昭（竹中医院／大阪市）

当院はソロプラクティスを行っている昔ながらの診療所で、おかげさまで今年で75周年を迎えました。外部からその診療内容が見えにくいと思われるので、本日は当院の最近の主要トピックスを御紹介したいと思います。

【COVID-19 診療】

今年5月のCOVID-19の5類移行に伴い、患者さんの咽頭を再びよく診るようになりました。デルタ株の時は燃えるような鮮紅色が印象的な咽頭で咽頭後壁のリンパ濾胞も目立っていましたが、オミクロン株になってからは独特の暗赤色の咽頭所見に変わりました。現在、咽頭弓にアフタ様の薄い粘膜変化を伴う所見を認めるものの、手足口病程の痛みを訴えずSARS-CoV-2検査陽性ですので「変異株かも」と思いながら診察しています。ワクチンに関しましては、ワクチンロス0を目指していたのですが、今年8月について1名分のワクチンロスを出してしまいました。また当院におけ



る副反応の報告を日本内科学会で行わせていただき、ワクチン接種後の痛みに対して漢方薬の治打撲一方が有効である可能性を日本東洋医学会で報告させていただきました。

【HPV ワクチン】

2021年10月から厚生労働省がHPVワクチン接種の積極的勧奨を再開し、複合性局所疼痛症候群は接種時の恐怖感を和らげることで低下できる可能性があること、及び複数の後方病院が大阪府内にできたことから、当院でもHPVワクチン接種を開始しました。区の広報紙で接種を勧奨し、接種時の声掛け、希望者には臥位での接種を行うなど打ち方を工夫し、当院では副反応は報告よりも少ない印象を受けております。

【腎不全の進行予防】

腎不全患者さんには利尿薬やSGLT2阻害薬が使用されるからか脱水になっている患者さんが多く、一方で除水しなければ浮腫を生じるため、インアウトバランスが非常に難しく感じます。当院では古典的ではありますが体重を管理しながら腎不全の進行予防に努めております。片方の腎臓をなくされた90歳代の患者さんが腎盂腎炎を生じ、クレアチニンが3.0mg/dlを超えた時には透析を覚悟しましたが、輸液、利尿薬、エリスロポエチンを調整し、2年経過した現在もクレアチニンが2.8~3.0mg/dl程度で維持できていることを筆頭に、透析患者さんを増やさない努力を行っております。

【家族アプローチ】

最後に私が博士論文をとった家族アプローチについてです。写真のように大阪人らしく家族一緒に診察を受けられる方々もいらっしゃる、見学に来られた方は「漫才みたいな診察」と表現されることもあります。患者さん個人が他の家族に聞かれない情報の扱いには気を遣います。また以前計画した診療所における家族アプローチの実態調査について、多施設共同研究は難しかったので、現在、当院で長期スパンでの調査を行っております。ある程度、結果が出ましたら学会で報告させていただきます。

以上、当院での最近の主要トピックスについて御紹介させていただきました。診療所のプラクティスは単調と思われがちですが、そのようなことは全くなく、毎日何かがあります。他の話題はまたの機会に。

特集2：第36回近畿地方会のお知らせ

稲岡 雄太 (第36回近畿地方会実行副委員長/おひさまクリニック/神戸市)

近畿ブロックおよび全国のプライマリ・ケア関係者の皆さまへ

JPCA 近畿地方会の季節がまたやってまいりました。

2023年度の開催は、**11月26日(日)の午前9時**から予定されています。

今回の第36回近畿地方会では、新しいスタイルを導入いたします。これまでの都府県持ち回りの開催から、理事会主管のもとで行うこととなりました。これは学術大会の負担を軽減するための取り組みであり、今後も2年に1度の頻度で開催を考えています。

専攻医の皆様への発表の場を広く提供することを目指し、**オンライン形式**で、シンプルかつ効果的なプログラムを提供いたします。もちろん専攻医だけでなく多くの方々の発表・参加を歓迎いたします。質疑応答や意見交換の時間も充実させる予定です。

学会発表の機会やOff-the-Jobトレーニング、地域での交流と情報共有の場として、皆さまに有益なひとときを提供できるように鋭意準備中です。

【開催概要】

日時：2023年11月26日(日) 午前9時~午後3時

テーマ：「気軽に語る総合診療×日頃の疑問×PCリサーチ」

形式：オンライン

【プログラムハイライト】

① **3つのOff-the-Job トレーニング**

- ・教育理論と教育ポートフォリオの書き方のコツ
近藤猛先生 (名古屋大学医学部附属病院総合診療科)
- ・臨床研究 ことはじめ ケースレポートから臨床研究への橋渡し
見坂恒明先生 (神戸大学大学院医学研究科)
- ・臨床現場をマネジメントするための仕事術 ～臨床判断力を爆上げする2つの道具～
天野雅之先生 (南奈良総合医療センター)

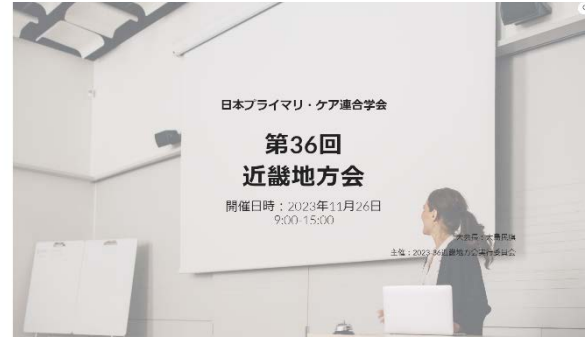
② **バーチャル医局 (oVice) を活用した交流の機会**もご用意しています。

【参加申込方法】

参加希望の方は、ウェブサイト (<https://sites.google.com/view/pckinki36/>) からお申し込みください。締切は2023年11月26日となっております。

ご不明点やお問い合わせについては、日本プライマリ・ケア連合学会近畿ブロック支部 第36回近畿地方会実行委員会 (E-mail : 36pc-kinki@googlegroups.com) まで、お気軽にご連絡ください。

第36回近畿地方会で、皆さまとお会いできることを、心より楽しみにしております。



お知らせ：ポートフォリオブラッシュアップセミナー (P-BUS) にご参加を

長 哲太郎 (コープおおさか病院/大阪市)

近畿専攻医のためのポートフォリオブラッシュアップセミナー (P-BUS) が10月14日 (土) 14時～16時で行われます。

学会より

- 専門医・認定医更新のための単位 2単位
- Off-the-job トレーニングの認定単位 2単位 領域：臨床の単位が付与されます。

参加対象者

- ・KONPass 購入している専攻医
- ・ポートフォリオ指導に興味のある指導医

申込期限は9月30日 (土) 正午です。

申し込みフォームはこちらです。

<https://forms.gle/v3unfSVhfPJabc7n9>

積極的なご参加のほどよろしくお願いたします。

以下企画概要です。

当日は、九州の教育施設の雄 (ゆう)、穎田病院におられる吉田 伸先生にポートフォリオのライブ指導をして頂きます。

吉田先生は、日本プライマリ・ケア連合学会理事であり、日本専門医機構においても、研修医・専攻医支援部会に所属しておられ、まさに専攻医支援のプロフェッショナルの方です。ぜひ書きかけのポートフォリオでもよいので、この企画に持ち寄り、ポートフォリオの理解を深める機会にしてもらいたいと思います。

また、専攻医の方で、まだ KONPass をお持ちでない方は、ぜひこの機会に購入を検討ください。(現在26名の方が購入済)

<https://ut3p2023.peatix.com/view>



活動報告

誰もが安心してかけられる病院を目指して～ジェンダーフレンドリー病院に向けた取り組み～

玉木 千里（京都協立病院／綾部市）

みなさま、はじめまして。京都協立病院で院長をしております玉木千里と申します。

この度は近畿ブロック支部のニュースレターに投稿の機会をいただき誠に光栄です。

まずは簡単に当院の紹介をさせていただきます。当院は京都府北部の人口3万2千人の綾部市にあります99床の小病院です。地域包括病棟52床と回復期リハビリテーション病床47床で運営しております。地域の関連診療所とも連携して主に亜急性期～慢性期、在宅期の医療を担っておりますが、2次救急の急性期疾患にも対応しております。

さて、今回紹介させていただく当院の活動は、誰もが安心してかけられる病院を目指して～ジェンダーフレンドリー病院に向けた取り組み～です。

当院は2020年4月に病院方針として、ジェンダーフレンドリー病院になることを掲げ、その後様々に取り組んでまいりました。実質のキックオフは同11月の京都精華大学で教鞭をとられているあかたちかこさんをお招きしての学習会でした。その後、私が講師を務める学習会を2回、そしてトランスジェンダー当事者のお二人を招待しての学習会を1回開催しております。2022年7月には「ジェンダーフレンドリー病院宣言」を発出しました。現在も院内のHPH推進委員会を主体にアクションプラン計画表に沿った取り組みを進めているところです。学習会の他に、これまでに「だれでもトイレ」の設置、レインボーフラッグの設置、学習会に参加した職員へのALLYバッジの配布、などを実施しました。取り組みの例を表にまとめたのでご参照ください。



ジェンダーフレンドリー病院への取り組みを進めて感じる意義は、性的マイノリティへの理解を深めることは、人権意識を高めることに通じること、性的マイノリティの方がかかりやすい病院になるということは、自分が働きやすい職場に通じること、を実感するということです。例えば、相手のセクシュアリティやパートナーとの関係を勝手に推測しない会話を心がける、アウトティング防止のための研修会を行う、などは職場内での偏見や差別防止にもつながると感じています。

当院の取り組みもまだまだ道半ばですが、職員で少しずつ学習をすすめ、各種団体とも協働してよりよりジェンダーフレンドリー病院として当事者、関係者からも信頼される病院になるために一層取り組みを続けていきたいと考えています。

年月	取組の内容	対象
2020年5月～ 2021年11月	医学雑誌「治療」における「ジェネラリストのためのLGBT講座」全20回分をSlack®で共有	管理委員メンバー
2020年7月	金宝堂「社会的弱者への診療と支援」輪読会	医局と地域連携室
2020年11月	あかたちかこさん講演	全職員
2021年5月	「だれでもトイレ」のピクトグラム設置	
2021年7月	LGBTQ学習会（玉木講師）	全職員
2022年7月	ジェンダーフレンドリー病院宣言発出	病院管理委員会
2022年8月	ジェンダー平等ワークシート配布	HPH委員会、各部署
2022年12月	アウトティング、カミングアウト時の対応についての学習会（玉木講師）	全職員

2023年1月	南山堂「医療者のためのLGBTQ講座」輪読会	医局と地域連携室
2023年1月	トランス男性/女性の当事者2名を招いて学習会	全職員

代議員選挙イヤー (year) について

2023年秋には代議員選挙が行われます。(立候補受付期間：2023年10月16日～11月13日 選挙：2023年11月20日～12月4日)

代議員は、会員10名につき1名選出され、各ブロックの予算配分はブロック内の代議員数に応じて分配されます。**昨今、近畿ブロックにおいては代議員定数割れが生じており、残念ながら会員数に見合った予算配分を受けることができていない現状もあります。**また、学会のそれぞれの構成比率と比較すると、女性または医師以外の職種の割合は低く、会員全体の意見を反映しにくい構造になっている可能性も否めません。「私は代議員とは無縁…」と思われる方もいるかもしれませんが、代議員になることでより積極的に学会活動に関わることができ、学会のガバナンスに声を届けることが可能となります。

代議員の任期は2年で、その間の主な役割は、(1)社員総会への参加 (2)近畿ブロック代議員会への参加 (3)理事の選出です。みなさまそれぞれの前向きな一歩が大変重要です。是非、代議員として一緒に頑張ってください。尚、代議員立候補の条件は、正会員歴3年以上です。

今回はプライマリ・ケア認定看護師の田原佳代子さんからのリレートークです。

それぞれの自分らしい前向きな一歩を期待して！

田原 佳代子 (岩倉駅前たはらクリニック/京都市)

私はプライマリ・ケア認定看護師として、家庭医療診療所で勤務しています。地域の中で看護を実践していく中で、認定看護師の勉強会や、ワークショップに参加させていただき、「自職種を省みる」重要性を感じつつ、地域でより質の高い医療を提供するためには、「多職種の専門性を活かした連携や協働」がとても大切だと日々感じています。

本年度から代議員にクォーター制が導入されます。それぞれの専門職としての役割や価値観をお互いに理解し、双方向に伝え合える関係性ができれば、もっと楽しく、質の高いプライマリケアを提供できるのではないかとわくわくしています。多職種の多様な声を代議員として一緒に届けてみませんか！

その他

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康 先生
- # 2 木戸友幸 先生
- # 3 中山(畔田)明子 先生
- # 4 雨森正記 先生
- # 5 鈴木富雄 先生
- # 6 松井善典 先生
- # 7 竹中裕昭 先生
- # 8 三澤美和 先生
- # 9 専門研修をはじめたばかりの3人の専攻医



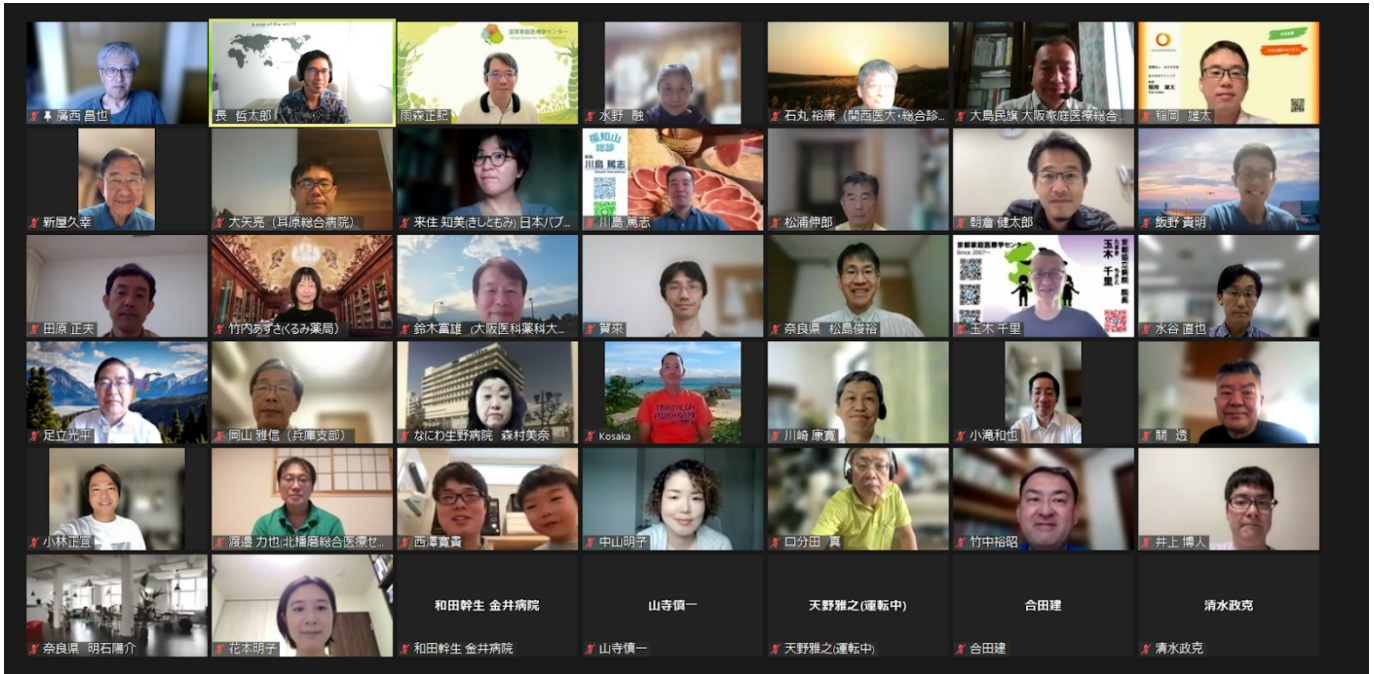
<https://podcasts.apple.com/gb/podcast/legend-of-gp-in-kpca/id1583573369>

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。ぜひ一度お聞きください。

●2023年7月2日(日) 代議員会開催

7月2日にオンライン代議員会が開催されました。当日は4名の代議員がオンライン参加され、2022年度事業報告(第34回近畿地方会、P-FESなど)、2022年度決算の承認、また2023年度の事業予算計画について協議し、決議しました。また、近畿地方会の持ち回りについて、2年に1回はオンライン地方会を導入するなど重要な議案も決議されました。詳しくは当日の議事録をご参照ください。

https://docs.google.com/document/d/1to6WgT4j7S9Hl1x3wCao1v6OT39EXxzD1BYc_wAFnZc/edit



●近畿ブロックの研修支援関係

近畿ブロック専攻医のための研修パスポート「KONPass」も Peatix で販売中です。

これは、春のオリエンテーション、秋のブラッシュアップセミナー、冬のポートフォリオ発表会、といった3大イベントへの参加に加えて、日々の外来振り返りや、オンライン指導医とメンタリングも、バーチャル医局を用いて、回数制限なくできてしまう、近畿専攻医だけの特別なパスポートです。(年会費 3000 円)

ぜひ専攻医の皆様はこちらをフォローして、チケットの購入をお願いします。

<https://ut3p2023.peatix.com/view>

そして、指導医の皆様も、ぜひフォローをお願いいたします。(指導医の皆様はチケットを購入しないでくださいね。)

●ドクター体験プロジェクト 2023 ご協力ありがとうございました！

近畿にある医学部、大学の低学年向けにプライマリ・ケアの現場に飛び込んでもらう「ドクター体験プロジェクト 2023」が始動し、9月までで体験が終了する予定です。

ご協力いただきました医療機関の皆様、誠にありがとうございます。

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎 (大福診療所/桜井市)

近畿ブロックニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。

3ヶ月毎、年4回の発行を行っており、本誌2023年秋号は41号にあたります。

引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができると考えております。

ニュースレターの編集にご興味のある方、一緒に面白い記事を作成してみようかなと思った方は、編集部 kentaroasakura@gmail.com 朝倉 までご一報下さい..

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之